

第6章 道路除雪工

① 道路除雪工	IV-6-①- 1	6 雪道巡回工	IV-6-①- 8
1 適用範囲	IV-6-①- 1	7 待機費	IV-6-①- 9
2 工種区分	IV-6-①- 1	8 道路除雪工の待機補償費計算参考例	IV-6-①-11
3 機種を選定	IV-6-①- 2	9 単価表	IV-6-①-12
4 除雪作業量	IV-6-①- 3	10 施工単価入力基準表	IV-6-①-19
5 運転労務	IV-6-①- 4		

第6章 道路除雪工

① 道路除雪工

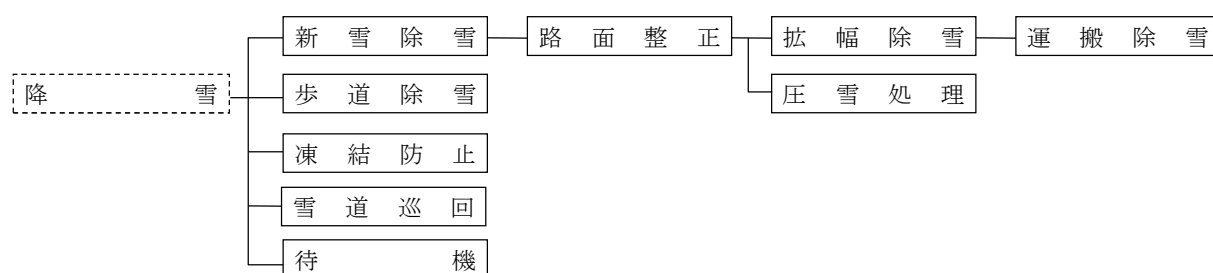
1. 適用範囲

本積算資料は、道路除雪作業のうち、次に示す工種区分に適用する。ただし、人力除雪には適用しない。
なお、この資料は、標準の値を示したものであり、これにより難しい場合は別途算定することが出来る。

2. 工種区分

2-1 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 上記フローは標準的な施工の流れを表したものであり、沿道条件・積雪条件等により異なる。
2. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

図2.1 施工フロー図

2-2 工種区分

(1) 一般除雪

1) 新雪除雪

新雪を除雪車により路側へ排除する作業をいい、除雪の対象となる雪は車両などにより圧縮されたり乱されたりする度合いも少なく、また結晶同志の結びつきも小さく、比較的高速作業をなし得る状態にある場合をいう。

2) 拡幅除雪

幅員の確保ならびに次の除雪に備えて路側に堆積された雪及び地ふぶきによる吹きだまりをさらに外側に排除する作業をいう。

3) 路面整正

路面上に残された雪の不陸整正、横断こう配の整形等の作業で路面上の雪厚も比較的小さく、また、1回の整正厚も薄く、反復整正作業のほとんど伴わない作業をいう。

4) 圧雪処理（氷盤処理）

路面上に成長した圧雪又は、氷盤を除去又は削整する作業をいい、専用機械による除去作業のほか反復作業となることが多い。

(2) 運搬除雪

人家連担部等で、路側への拡幅作業が困難となった場合、又はその恐れがある場合で堆積した雪を他の地点に運搬排除する作業をいう。

(3) 凍結防止

路面上の雪の凍結防止、車両のすべり防止のため砂、凍結防止剤の散布を行う作業で路面整正、氷盤処理の際の補助散布等の作業形態もある。

(4) 歩道除雪

歩道上の雪を除く作業をいう。

3. 機 種 の 選 定

3-1 機種選定

各工種において使用する機種・規格は、次表を標準とする

表3.1 機種選定

工 種	作 業 条 件	機 種	規 格
新雪除雪	標 準	除雪グレーダ排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	ブレード幅 3.7m, 4.0m, 4.3m級
		除雪トラック(ワンウェイプラウ付)	7 t 級
	幅員の狭い場合 又は積雪量の 少ない場合	除雪グレーダ排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	ブレード幅 3.7m級
		除雪トラック(ワンウェイプラウ付)	7 t 級
拡幅除雪	雪堤の低い場合	除雪トラック(ワンウェイプラウ付)	7 t 級
		除雪グレーダ 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	ブレード幅 3.7m, 4.0m, 4.3m級
	雪堤の高い場合	除雪トラック(サイドウィング付)	10 t 級
		除雪グレーダ 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	ブレード幅 3.7m, 4.0m, 4.3m級
		ロータリ除雪車(ホイール・2ステージ型) 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	160~440kW (220~600 P S)級
路面整正	標 準	除雪グレーダ 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	ブレード幅 3.7m, 4.0m, 4.3m級
	柔 らか い 雪 , サクレ状の雪の場合	除雪グレーダの代用又は補助として除雪トラック	7 t 級
		除雪トラック(路面整正装置付)	7 t 級
圧雪処理 (氷盤処理)	標 準	除雪グレーダ 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	ブレード幅 3.7m, 4.0m, 4.3m級
	軽 度 な 場 合	除雪ドーザ 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	
	特 に 硬 い 氷 盤	氷盤破碎装置	
運搬除雪	幅員の広い場合	(1)ロータリ除雪車(ホイール・2ステージ型) 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	160~440kW (220~600 P S)級
		(2)除雪ドーザ排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	山積1.2~2.2m ³
		(3)ダンプトラック オンロードディーゼル	10 t 積級
		※(1)(2)(3)の3種類の組合せ又は、(1)(3)の2種類の組合せとする	
	幅員の狭い場所 交通量が特に多 い 場 合	一車線積込除雪車(ロータリ式) 排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	
		ダンプトラック オンロードディーゼル	8 t 積級
凍結防止	砂	砂散布機・架装車	
	砂 , 薬 剤 混 合 薬 剤 , 薬 液	(マテリアルスプレッダ) 凍結防止剤散布車, 散水車	
歩道除雪	歩 道 幅 員 (1.5m程度以上)	ロータリ除雪車(ホイール・2ステージ型)排出ガス対策型(第○次基準値, 20○○年規制)	30~90kW (40~130 P S) 級
	歩 道 幅 員 (1.2m程度以上)	小型ロータリ除雪機(クローラ・ハンドガイド型)	7~22kW (9~30 P S) 級
雪道巡回	標 準	パトロール車 ライトバン	
	沿道条件・気象条件 により必要な場合	凍結防止剤散布車	

3-2 作業形態

各工種における作業形態は、次表を標準とする。

表3.2 作業形態

工 種	作 業 条 件	作 業 形 態
新雪除雪	幅員の狭い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多い。
	幅員の広い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業及び1台で所定幅員が確保出来ない場合は除雪トラック、除雪グレーダによる雁行組合せ作業が多い。（当該地域の保有台数及び地域条件により規格を使い分ける。）
拡 幅 除 雪	雪堤の低い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多いが、新雪除雪作業と兼ねて行う場合は雁行作業もとられる。
	雪堤の高い場合	除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィングによる単独の雪堤段切作業がとられる。 また、ロータリ除雪車による放雪作業が多いが除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィング(マックレー法)とロータリ除雪車の組合せ作業もある。なお、山間部等の特殊な場合は除雪ドーザの作業もある。
路面整正		除雪グレーダによる単独作業が多い。 新雪除雪、拡幅除雪と兼ねて行う場合は除雪グレーダ、除雪トラックと組合せて雁行作業も行う。
運搬除雪		積込障害の多い場合及び歩道の排雪も兼ねて行う場合等は堆積の切崩集雪用補助機械として除雪グレーダや除雪ドーザが組合せられることが多い。 捨場の状況に応じて除雪ドーザやロータリ除雪車を配置する場合がある。 また、幅員が狭い場合、又は交通量の特に多い場合は一車線積込除雪車による一車線積込方式がある。
歩道除雪		小型除雪車等を歩道上に直接乗り入れて行う方法が一般的である。

4. 除 雪 作 業 量

4-1 一般除雪・運搬除雪・歩道除雪・凍結防止

一般除雪・運搬除雪・歩道除雪・凍結防止の各作業量の算定は、除雪機械等の実作業時間による。

(1) 一般除雪、運搬除雪、歩道除雪において、組合わされる除雪機械に対して、スノー・ステーション等で駐在する連絡員との連絡・調整、除雪機械の操作員への作業指示、気象情報等の情報収集を行う除雪作業世話役として、土木一般世話役を計上するものとする。

(2) 運搬除雪において、積込機械1台に対して、機械作業の補助として人力による積込み作業を行う積込補助作業員として、普通作業員3人を計上するものとする。

なお、状況に応じて、員数を適宜増減させてもよい。

運搬除雪以外の工種について補助作業員は、表5.1による。

4-2 凍結防止

(1) 凍結防止剤の散布量は過去の実績を基に推定するものとし、実散布量にて精算を行うものとする。（過去の実績の無い場合は、20～40 g/m²程度を標準とする。）

(2) 凍結防止剤散布車への袋詰薬剤の積込（開封・積込・清掃）は、散布車の運転時間に含まれるものとする。積込作業は、スノー・ステーション等にて天井クレーン又は、中2階からの積込みを標準とし、これにより難しい場合は別途考慮する。

5. 運 転 労 務

5-1 適用職種

各除雪機械等運転労務の適用職種は、表5.1による。

表5.1 除雪機械等運転労務適用職種

機 械 名	規 格	運転手		助手		除雪作業 世 話 役	機械付労務		摘 要
		運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	普 通 作業員	土木一般 世 話 役	特 殊 作業員	普 通 作業員	
除 雪 ト ラ ッ ク (ダンプ架装型・除雪専用型)	各 種		○		○	○			
除 雪 グ レ ー ダ	各 種	○			○	○			(注)2
除 雪 ド ー ザ (ホイール型・クローラ型)	各 種	○			○	○			一般除雪 (注)2
		○			○			○	運搬除雪 (注)2,3
ロ ー タ リ 除 雪 車 (ホイール・2ステージ型)	160kW以上 (220PS以上)級	○		○		○		○	(注)3
ロ ー タ リ 除 雪 車 (ホイール・2ステージ型)	ホイール：30kW (40PS)級		○			○		○	(注)34
	ホイール：60～90kW (80～130PS)級	○				○		○	(注)34
一 車 線 積 込 除 雪 車	ロータリ式各種	○		○		○		○	(注)3
ダ ン プ ト ラ ッ ク	ディーゼル		○						
凍 結 防 止 剤 散 布 車			○		○				
砂 散 布 機 ・ 架 装 車 (マテリアルスプレッド)			○					○	(注)45
散 水 車			○		○				
小型ロータリ除雪機 (クローラ・ハンドガイド型)	各 種						○	○	(注)56
多 目 的 作 業 車	各 種		○		○	○			
除雪ドーザ用アタッチメント (ロータリ除雪装置)	各 種	○				○			
除雪トラック用アタッチメント (路面整正装置)	各 種		○		○	○			
除雪トラック用アタッチメント (凍結防止剤散布装置)	各 種		○		○				

(注)1. 上表の助手は、安全確認作業等のため運転手とともに除雪機械に同乗する作業付労務である。

2. 除雪グレーダ、除雪ドーザの機種が1人乗りの場合は、普通作業員は計上しない。

3. 運搬除雪時においては、除雪ドーザ、ロータリ除雪車、一車線積込除雪車の積込補助作業員として必要に応じて計上出来る。積込補助作業員の適用職種は普通作業員とし、運転1時間当りn人／Tを計上する。

4. 歩道除雪等においては、ロータリ除雪車の補助作業員として、必要に応じて計上出来る。補助作業員の適用職種は普通作業員とし、運転1時間当りn人／Tを計上する。

5. 砂散布機架装車の補助作業員として、運転1時間当り普通作業員2人／Tを計上する。

6. 小型ロータリ除雪機は運転員として特殊作業員を、補助作業員として普通作業員を運転1時間当り各々1人／Tを計上する。

7. 各除雪装置の職種は、ベースマシンの運転適用職種である。

8. nは、運転1時間当り計上人数である。Tは、5-3 労務歩掛(1)による。

9. 設計図書等に必要な資格を定めている場合は、上表によらず適用する。

5-2 作業内容

(1) 運転手

除雪機械の運転又は操作、及び整備点検・給油脂・清掃作業を行う。また、気象条件（降雪量等）の変化に備える待機作業を行う。

運転手の単価は、必要とされる免許、資格により運転手（特殊）、運転手（一般）を計上する。

(2) 助手

除雪作業中の安全管理等のため運転手とともに除雪機械に同乗する作業、及び整備点検・給油脂・清掃作業等を行う。また、気象条件（降雪量等）の変化に備える待機作業を行う。

助手の単価は、同乗する除雪機械等により特殊作業員もしくは普通作業員を計上する。（表5-1参照）

(3) 除雪作業世話役

除雪作業世話役は以下に示すような作業等を行う。

除雪作業世話役の単価は土木一般世話役の単価とする。

- 1) スノー・ステーション等で駐在する連絡員との連絡・調整運転手や助手に対し各除雪作業に応じた指示を行う。
- 2) 降雪、積雪等の気象状況及び道路交通状況等の情報収集を行う。
- 3) 気象の変化及び道路交通環境等に対応した適切な除雪機械の配置、作業進捗状況の把握、管理を行う。

(4) 機械付労務

- 1) ロータリ除雪（ホイール・2ステージ型）、除雪ドーザ（ホイール型・クローラ型）、一車線積込除雪車運搬排雪、歩道除雪時におけるロータリ除雪車等の積込補助作業を行う。

積込補助作業員の単価は普通作業員を計上する。

- 2) 砂散布機・架装車（マテリアルスプレッダ）

砂散布等における砂散布機、架装車の補助作業を行う。

補助作業員の単価は普通作業員を計上する。

- 3) 小型ロータリ除雪機

①運転員

小型ロータリ除雪機の運転又は操作、及び整備点検・給油脂・清掃作業を行う。

運転員の単価は特殊作業員を計上する。

②補助作業員

小型ロータリ除雪機の補助作業を行う。

補助作業員の単価は普通作業員を計上する。

5-3 労務歩掛

- (1) 運転手、助手、機械付労務（特殊作業員）

運転手、助手、機械付労務（特殊作業員）の機械運転1時間当り労務歩掛は、次式による。

$$\text{歩掛} = \frac{1}{T} \quad (\text{人}/\text{h})$$

（注）Tは運転日当り運転時間で、「請負工事機械経費積算要領」第4第4項及び同第6の定めによる。

なお、Tは4～7時間について適用するものとし、Tが4時間未満の場合は4を、7時間を超える場合は7を使用する。

- (2) 除雪作業世話役

除雪作業世話役の労務歩掛は、運転手の1/3を計上する。

- (3) 機械付労務（普通作業員）

- 1) ロータリ除雪（ホイール・2ステージ型）、除雪ドーザ（ホイール型・クローラ型）、一車線積込除雪車

運搬除雪においては、積込機械1台に対して、積込補助作業員として3名を計上する。なお、状況に応じて員数を適宜増減させてもよい。また、除雪機械の誘導等の交通管理を行う場合、交通誘導警備員を必要に応じて別途計上する。

- 2) ロータリ除雪（ホイール・2ステージ型）

歩道除雪においては、必要に応じて補助作業員を計上する。

- 3) 砂散布機・架装車（マテリアルスプレッダ）

補助作業員として2人を計上する。

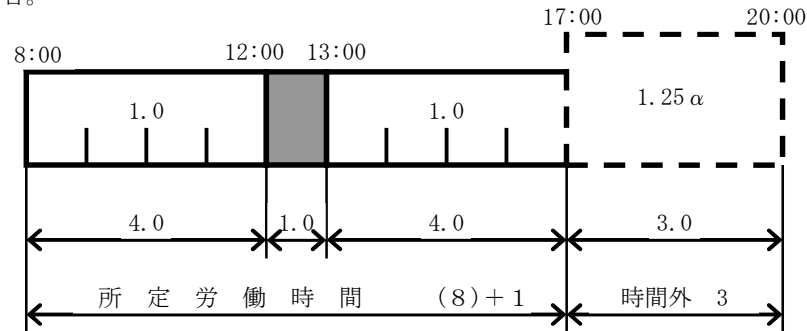
- 4) 小型ロータリ除雪機

補助作業員として1人を計上する。

5-4 労務単価の時間当り補正係数の考え方の例

労務単価の補正は、以下の事例を参考に労務実態に合わせ適正に行うものとする。

- (1) 昼間除雪作業において8時から17時を所定労働時間（8h）とし、17時以降の時間帯は時間外賃金として計上する場合。



所定労働時間当り補正係数 : 1.0

所定労働時間外における時間当り補正係数 : 1.25 α

α : 構成比

《(1) の例》 13:00 から 19:00 まで除雪作業を指示した場合。

※17時以降の時間帯は時間外労働賃金の対象とする。

【時間当り補正係数】

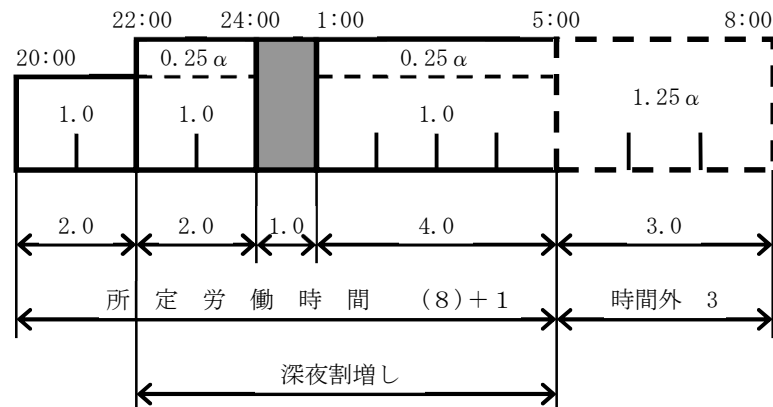
除雪作業時間 : 13:00～19:00 (6h)

時間当り補正係数 : 13:00～17:00 (4h) 1.0

17:00～19:00 (2h) 1.25 α



- (2) 夜間除雪作業において20時から5時を所定労働時間（8h）とし、5時以降の時間帯は時間外賃金として計上する場合。



所定労働時間（20:00～5:00）における時間当り補正係数 :

$$(1.0 \times 8h + 0.25 \alpha \times 6h) \times 1 / 8 = (8.0 + 1.5 \alpha) \times 1 / 8$$

※所定労働時間内の補正係数は平均値とすることができる。

所定労働時間外における時間当り補正係数 : 1.25 α

α : 構成比

《(2) の例》 3:00 から 8:00 まで除雪作業を指示した場合。

※5 時以降の時間帯は時間外労働賃金の対象とする。

【時間当り補正係数】

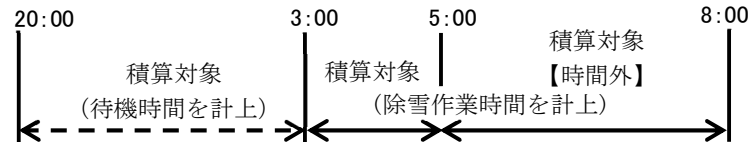
除雪待機時間 : 20:00 ~ 3:00 (6 h)

除雪作業時間 : 3:00 ~ 8:00 (5 h)

時間当り補正係数 : 20:00 ~ 5:00 (8 h)

$$(1.0 \times 8h + 0.25 \alpha \times 6h) \times 1 / 8 = (8.0 + 1.5 \alpha) \times 1 / 8$$

5:00 ~ 8:00 (3 h) 1.25 α



夜間除雪作業の前後に、除雪待機指示を行っている場合は、機械の運転及び待機台数に関係なく世話役（情報連絡・作業管理）を1待機当り1.0人を計上する。運転手及び助手は、運転・待機台数に応じて適切に計上する。

6. 雪道巡回工

6-1 適用職種

雪道巡回工における各巡回機械運転労務の適用職種は、表6.1による。

表6.1 巡回機械運転労務適用職種

機 械 名	規 格	運転手		助 手		世話役	機械付労務		摘 要
		運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	普 通 作業員	土木一般 世話役	特 殊 作業員	普 通 作業員	
パ ト ロ ー ル 車			○			○			
凍結防止剤散布車			○			○			

(注) 標準機種はパトロール車（ライトバン含む）とするが、沿道条件・気象条件等により、凍結防止剤散布車を選択することが出来る。

6-2 労務歩掛

(1) 運転手

雪道巡回工における運転手の巡回1回当り労務歩掛は、次式及び表6.2による。

$$\text{歩掛} = \frac{T_r}{T} \quad (\text{人/回})$$

(2) 世話役

雪道巡回工における世話役の巡回1回当り労務歩掛は、次式及び表6.2による。

$$\text{歩掛} = \frac{T_r}{8} \quad (\text{人/回})$$

表6.2 巡回1回当り巡回時間(T_r)

機 械 名	1 回 当 り 巡 回 距 離				
パ ト ロ ー ル 車	10km以下	25km以下	45km以下	60km以下	75km以下
	0.5	0.9	1.3	1.7	2.1
	95km以下	125km以下	160km以下	200km以下	
	2.5	2.9	3.7	4.5	
凍結防止剤散布車	20km以下	30km以下	45km以下	55km以下	65km以下
	0.5	0.9	1.3	1.7	2.1
	80km以下	105km以下	125km以下	150km以下	
	2.5	2.9	3.7	4.5	

7. 待 機 費

除雪工事等における待機の対象となる期間及び機種については、気象条件及び道路条件等を勘案して設定し計上する。

7-1 除雪待機の内容

- (1) 情報連絡・作業管理及び新雪除雪、凍結防止作業等に必要な機種に係るオペレータ等を計上する。
- (2) 情報連絡・作業管理及び待機させる機種及びオペレータ等の待機人員は、表 7. 1 を標準とする。

表 7. 1 情報連絡・作業管理及び待機機種とオペレータ等の待機人員

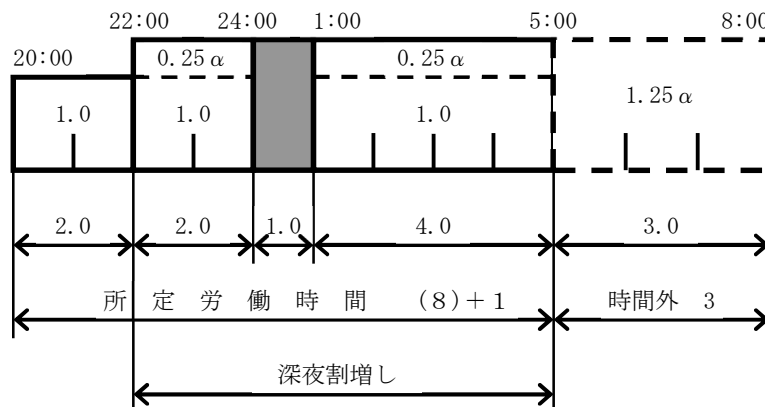
除 雪 機 械	オペレータ等(人/台)				世話役 (人/待機)
	運転手		助 手		
	運転手(特殊)	運転手(一般)	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役
除 雪 ト ラ ッ ク		1.0		1.0	1.0※
除 雪 グ レ ー ダ	1.0			1.0	
凍結防止剤散布車		1.0		1.0	

※ 土木一般世話役はいずれの機械を待機させても、待機台数に関係なく 1.0 人を計上する。

7-2 除雪待機費の考え方の例

労務単価の補正は、以下の事例を参考に労務実態に合わせ適正に行うものとする。

夜間除雪待機において 20 時から 5 時を所定労働時間（8 h）とし、5 時以降の時間帯は時間外賃金として計上する場合。



7-3 待機費等

待機費等は、次式により算定する。

- (1) 情報連絡・作業管理の費用として、土木一般世話役を計上する。

①所定労働時間内

$$W_{m1} = \frac{P_m}{8} \times H_{m1} \times \alpha_{m1}$$

W_{m1} : 所定労働時間内における情報連絡・作業管理の費用

P_m : 世話役の労務単価

H_{m1} : 情報連絡・作業管理の延対象時間

α_{m1} : 所定労働時間（20:00～5:00）における時間当り補正係数

$$(1.0 \times 8h + 0.25 \alpha \times 6h) \times 1 / 8 = (8.0 + 1.5 \alpha) \times 1 / 8$$

α : 構成比

②所定労働時間外

$$W_{m2} = \frac{P_m}{8} \times H_{m2} \times \alpha_{m2}$$

W_{m2} : 所定労働時間外における情報連絡・作業管理の費用

P_m : 世話役の労務単価

H_{m2} : 情報連絡・作業管理の延対象時間

α_{m2} : 所定労働時間外における時間当り補正係数 1.25α

α : 構成比

(2) オペレータ等の待機費

①所定労働時間内

$$W_{k1} = \frac{P}{8} \times n \times H_{k1} \times \alpha_{m1}$$

W_{k1} : 所定労働時間内における運転手、助手の待機費

P : 運転手、助手の労務単価

n : 運転手、助手の待機人員 (表 7.1)

H_{k1} : 運転手、助手の待機指示 (運転した場合の時間を含む) 時間

α_{m1} : 所定労働時間 (20:00 ~ 5:00) における時間当り補正係数

$$(1.0 \times 8h + 0.25 \alpha \times 6h) \times 1 / 8 = (8.0 + 1.5 \alpha) \times 1 / 8$$

α : 構成比

②所定労働時間外

$$W_{k2} = \frac{P}{8} \times n \times H_{k2} \times \alpha_{m2}$$

W_{k2} : 所定労働時間外における運転手、助手の待機費

P : 運転手、助手の労務単価

n : 運転手、助手の待機人員 (表 7.1)

H_{k2} : 運転手、助手の待機指示 (運転した場合の時間を含む) 時間

α_{m2} : 所定労働時間外における時間当り補正係数 1.25α

α : 構成比

注) 待機指示時間帯における機械運転労務を含む (機械運転が生じた場合の労務費については、待機費に計上すること)。

8. 道路除雪工の待機補償費計算参考例

8-1 作業区分の凡例

作業区分A＝ 8：00～17：00 昼間 所定労働時間
 作業区分B＝17：00～20：00 昼間 時間外労働時間
 作業区分C＝20：00～ 5：00 夜間 所定労働時間
 作業区分D＝ 5：00～ 8：00 夜間 時間外労働時間

8-1-2 除雪待機，除雪作業集計表の作成例

除雪作業（夜間の待機含む）

（単位：時間）

日付	作業区分	除雪トラック				除雪グレーダ				凍結防止剤散布車			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1/20	運転時間【昼間】	1:00	2:40			0	0			0	0		
	運転時間【夜間】			2:20	0			3:40	1:00			0	0
	待機時間【夜間】			8:00	3:00			8:00	3:00			0	0
1/21	運転時間【昼間】	0	0			0	0			0	0		
	運転時間【夜間】			3:30	1:10			2:00	0			3:50	0
	待機時間【夜間】			8:00	3:00			8:00	3:00			0	0
合計	運転時間【昼間】	1:00	2:40			0	0			0	0		
	運転時間【夜間】			5:50	1:10			5:40	1:00			3:50	0:00
	待機時間【夜間】			16:00	6:00			16:00	6:00			0:00	0:00

※ 【昼間】作業区分A＝ 8：00～17：00，作業区分B＝17：00～20：00

【夜間】作業区分C＝20：00～ 5：00，作業区分D＝ 5：00～ 8：00

情報連絡・作業管理

（単位：時間）

実施日	1/20	1/21	1/22	1/23		3/1	3/2		合計
作業時間(20:00～5：00)	8:00	8:00	8:00	8:00		0	0		32:00
作業時間(5：00～8：00)	3:00	3:00	3:00	3:00		0	0		12:00

9. 単 価 表

(1) 除雪ドーザ運転（一般除雪） 1 時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460010	
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	
軽 油		ℓ			
切 刃 損 耗 費		h	1	必要に応じて計上	
タイヤチェーン損耗費		〃	1	〃	
運 転 手 （ 特 殊 ）		人		1/T	
普 通 作 業 員		〃		1/T（除雪ドーザが2人乗り以上の場合計上）	
除雪作業世話役 （土木一般世話役）		〃		(1/T)/3	
除 雪 ド ー ザ	排出ガス対策型(第○次基準値) 〃 (20〇〇年規制)	h	1	機械損料	
除 雪 ド ー ザ 用 ア タ ッ チ メ ン ト	プラウ	〃	1	必要に応じて計上 機械損料	
諸 雑 費		式	1		
計					

(2) 除雪ドーザ運転（運搬除雪） 1 時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460030	
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	
軽 油		ℓ			
切 刃 損 耗 費		h	1	必要に応じて計上	
タイヤチェーン損耗費		〃	1	〃	
運 転 手 （ 特 殊 ）		人		1/T	
普 通 作 業 員		〃		1/T（除雪ドーザが2人乗り以上の場合計上）	
普 通 作 業 員		〃		n 人/T（運搬排雪時に必要に応じて計上）	
除 雪 ド ー ザ	排出ガス対策型(第○次基準値) 〃 (20〇〇年規制)	h	1	機械損料	
除雪ドーザ（ホイール型）用アタッチメント	スノーバケット	〃	1	機械損料	
諸 雑 費		式	1		
計					

(3) 除雪トラック運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460020
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
切 刃 損 耗 費		h	1	必要に応じて計上
タイヤチェーン損耗費		〃	1	〃
運 転 手 (一 般)		人		1/T
普 通 作 業 員		〃		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
除 雪 ト ラ ッ ク		h	1	機械損料
除 雪 ト ラ ッ ク 用 ア タ ッ チ メ ン ト	サイドウイング	〃	1	必要に応じて計上 機械損料
〃	プラウ	〃	1	必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(4) ダンプトラック運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460040
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
側 板 損 耗 費		h	1	必要に応じて計上
タイヤチェーン損耗費		〃	1	〃
運 転 手 (一 般)		人		1/T
ダ ンプ ト ラ ッ ク		h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(5) 多目的作業車運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460050
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運 転 手 (一 般)		人		1/T
普 通 作 業 員		〃		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
そ の 他 除 雪 機 械	多目的作業車 オンロード・ホイール型	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(6) 一車線積込除雪車運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460060
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運 転 手 (特 殊)		人		1/ T
特 殊 作 業 員		〃		1/ T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/ T)/3
普 通 作 業 員		〃		n 人/ T (運搬排雪時に必要 に応じて計上)
ロータリ式除雪機械	一車線積込除雪車 ロータリ式 排出ガス対策型(第〇次基準値) 〃 (20〇〇年規制)	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(7) 除雪グレーダ運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460070
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
切 刃 損 耗 費		h	1	必要に応じて計上
タイヤチェーン損耗費		〃	1	〃
エンドビット損耗費		〃	1	〃
運 転 手 (特 殊)		人		1/ T
普 通 作 業 員		〃		1/ T (除雪グレーダが2人 乗人以上の場合計上)
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/ T)/3
除 雪 グ レ ー ダ	排出ガス対策型(第〇次基準値) 〃 (20〇〇年規制)	h	1	機械損料
除 雪 グ レ ー ダ 用 ア タ ッ チ メ ン ト	Vプラウ	〃	1	必要に応じて計上 機械損料
〃	サイドウイング	〃	1	必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(8) ロータリ除雪車運転1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460080
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運 転 手 (特 殊)		人		1/T
特 殊 作 業 員		〃		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
普 通 作 業 員		〃		n 人/T (運搬除雪時に必要に応じて計上)
ロータリ式除雪機械	ロータリ除雪車(ホイール・2ステージ型) 排出ガス対策型(第○次基準値) 〃 (20〇〇年規制) 160～440kW(220～600 P S)級	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(9-1) ロータリ除雪車運転1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460090
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽油又はガソリン		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運 転 手 (特 殊)		人		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
普 通 作 業 員		〃		n 人/T (必要に応じて計上)
ロータリ式除雪機械	ロータリ式除雪車 排出ガス対策型(第○次基準値) 〃 (20〇〇年規制) 60～90kW(80～130PS)級	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(9-2) ロータリ除雪車運転1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460090
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運 転 手 (一 般)		人		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
普 通 作 業 員		〃		n 人/T (必要に応じて計上)
ロータリ式除雪機械	ロータリ除雪車 排出ガス対策型(第○次基準値) 〃 (20〇〇年規制) 30kW(40PS)級	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(10) 小型ロータリ除雪機運転1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460100
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽油又はガソリン		ℓ		
特殊作業員		人		1人/T
普通作業員		〃		1人/T
小型ロータリ除雪機	クローラ・ハンドガイド型	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(11) ロータリ除雪装置1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460120
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運 転 手 (特 殊)		人		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
ロータリ式除雪機械用 アタッチメント	ロータリ除雪装置(多機能型ロータリ除雪車用)	h	1	機械損料
除 雪 ド ー ザ	排出ガス対策型(第○次基準値) 〃 (20〇〇年規制)	〃	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(12) 路面整正装置1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460130
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		ℓ		
切 刃 損 耗 費		h	1	必要に応じて計上
タイヤチェーン損耗費		〃	1	〃
運 転 手 (一 般)		人		1/T
普通作業員		〃		1/T
除雪作業世話役 (土木一般世話役)		〃		(1/T)/3
除雪トラック用 アタッチメント	路面整正装置	h	1	機械損料
除 雪 ト ラ ッ ク		〃	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(13) 凍結防止剤散布装置運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460140
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽油又はガソリン		ℓ		散布装置燃料 (機種に応じて計上)
軽油		〃		トラック燃料
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運転手(一般)		人		1/T
普通作業員		〃		1/T
除雪トラック用 アタッチメント (凍結防止剤散布装置)	車載・トラックPTO駆動 車載・乾式・ガソリン・コンバ式 車載・乾式・ディーゼル・コンバ式	h	1	機械損料
除雪トラック又は トラック		〃	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(14) 凍結防止剤散布車運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460160
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運転手(一般)		人		1/T
普通作業員		〃		1/T
凍結防止剤散布車又は 凍結防止剤散布車 用 シ ャ シ		h	1	機械損料
凍結防止剤散布車用 散 布 装 置 等		h	1	凍結防止剤散布車用シャシ の場合、必要に応じて計上 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(15) 散水車(凍結防止剤散布)運転1時間当り単価表

		施工歩掛コード		WB460170
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽油		ℓ		
タイヤチェーン損耗費		h	1	必要に応じて計上
運転手(一般)		人		1/T
普通作業員		〃		1/T
散水車	トラック架装型	h	1	機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(16) 雪道巡回1回当り単価表

施工歩掛コード	WB460210
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽油又はガソリン		ℓ		パトロール車又は凍結防止剤散布車
運 転 手 (一 般)		人	T_r/T	
土 木 一 般 世 話 役		〃	$T_r/8$	
パトロール車又は凍結防止剤散布車		h	T_r	機械損料
タイヤチェーン損耗費		〃	T_r	必要に応じて計上
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) T_r : 巡回1回当り巡回時間

(17) 待機費1式当り単価表

施工歩掛コード	WB460220
---------	----------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
待 機 費		式	1	
諸 雑 費		〃	1	
計				

(18) 待機費1時間当り単価表

施工歩掛コード	WB460230, WB460240
---------	--------------------

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
待 機 費	土木一般世話役又はオペレータ	h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

10. 施工単価入力基準表

(1) 除雪ドーザ運転（一般除雪）

施工歩掛コード	WB460010	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	除雪ドーザ機種	ブラウ等機種計上の有無	ブラウ等機種	ブラウ等機種コード入力
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.1)	①計上する ②計上しない	(表10.2)	

J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12
その他 アタッチメント 等機種 計上の有無	その他 アタッチメント 等機種 コード入力	除雪ドーザ 供用日当り 運転時間	除雪ドーザ 供用日当り 運転時間 (実数)	ブラウ等機種 供用日当り 運転時間	ブラウ等供用 日 当り運転時間 (実数)
①計上する ②計上しない		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]

J 13	J 14	J 15	J 16	J 17	J 18
その他機種供用 日当り運転時間	その他供用日 当り運転時間 (実数)	切刃計上 の有無	タイヤチェーン 計上の有無	保険料控除	除雪ドーザ 乗車定員
①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①計上する ②計上しない	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する	①2人乗り 以上 ②1人乗り

- (注) 1. 除雪機械の他、ブ라우等を使用する場合は表 10. 2 から選択するものとするが、表に記載のない機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
2. J 5 条件で入力した機械以外にもアタッチメントを使用する場合は J 7 条件は①、J 8 条件欄に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
3. J 2 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 15、J 16 条件の入力は不要である。
4. J15 条件で①を選択した場合、切刃損耗費 (Y-5103000) [円/時間]を単価登録すること。
5. J16 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費(Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
6. 貸与機械で損耗品（切刃、タイヤチェーン）を支給品とする場合は、別途計上すること。
7. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
8. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。
9. J18 条件で①を選択した場合は、作業付労務として1時間あたり普通作業員 1/T が計上される。

表 10. 1 除雪ドーザ機種一覧表

機 種	入力番号
ホイール型[ブレード・バケット兼用型] 5 t 級	①
〃 6 t 級	②
〃 7 t 級	③
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(第1次)13(中速型) t 級	④
〃 8 t 級	⑤
〃 13 t 級	⑥
〃 16 t 級	⑦
ホイール型[ブレード専用型] 19 t 級	⑧
ホイール型[ブレード専用型]排ガス型(第1次) 19 t 級	⑨
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(第2次)	⑩
〃 8 t 級	⑪
〃 11 t 級	⑫
〃 13 t 級	⑬
〃 13(中速型) t 級	⑭
ホイール型[ブレード専用型]排ガス型(第2次) 19 t 級	⑮
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(第3次)	⑯
〃 11 t 級	⑰
〃 13 t 級	⑱
〃 19 t 級	⑲
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(2011年規制)	⑳
〃 11 t 級	㉑
〃 14 t 級	㉒
〃 18 t 級	㉓
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(2014年規制)	㉔
〃 14 t 級	㉕
〃 18 t 級	㉖

表 10. 2 除雪ドーザ用ブラウ等機種一覧表

機 種	入力番号
アングリングブラウ 5～7 t 級用	①
〃 8～9 t 級用	②
〃 11 t 級用	③
〃 13～14 t 級用	④
〃 16 t 級用	⑤
〃 18～19 t 級用	⑥
アングリングブラウ サイドスライド型 5～7 t 級用	⑦
〃 〃 8～9 t 級用	⑧
〃 〃 11 t 級用	⑨
〃 〃 13～14 t 級用	⑩
〃 〃 16 t 級用	⑪
〃 〃 18～19 t 級用	⑫
マルチブラウ 5～7 t 級用	⑬
〃 8～9 t 級用	⑭
〃 11 t 級用	⑮
〃 13～14 t 級用	⑯
〃 16 t 級用	⑰
〃 18～19 t 級用	⑱
Vブラウ 5～7 t 級用	⑲
〃 8～9 t 級用	⑳
〃 11 t 級用	㉑
〃 13～14 t 級用	㉒
〃 16 t 級用	㉓
〃 18～19 t 級用	㉔

(2) 除雪ドーザ運転(運搬除雪)

施工歩掛コード	WB460030	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	除雪ドーザ機種	除雪ドーザ機種 コード入力	スノーバケット等機種計上の有無	スノーバケット等機種
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.3)		①計上する ②計上しない	(表10.4)

J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12
スノーバケット等機種 コード入力	その他 アタッチメント等機種 計上の有無	その他 アタッチメント等機種 コード入力	除雪ドーザ 供用日当り 運転時間	除雪ドーザ 供用日当り 運転時間 (実数)	スノーバケット等機種 供用日当り 運転時間
	①計上する ②計上しない		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準 [0]	①標準 ②標準以外

J 13	J 14	J 15	J 16	J 17	J 18
スノーバケット等 供用日当り 運転時間 (実数) (実数入力) 標準 [0]	その他機種 供用日当り 運転時間	その他 供用日当り 運転時間 (実数) (実数入力) 標準 [0]	補助作業員の 計上の有無	補助作業員の 人数 (n人/T)	切刃計上の有無
	①標準 ②標準以外		①計上する ②計上しない	(実数入力)	①計上する ②計上しない

J 19	J 20	J 21	J 22
タイヤチェーン 計上の有無	保険料控除	除雪ドーザ 乗車定員	その他除雪ドーザ 運転日当り運転時間 (実数)
①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する	①2人乗り以上 ②1人乗り	(実数入力)

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10. 3 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K○○○○○○○○) を入力する。
2. 除雪機械の他、スノーバケットを使用する場合は表 10. 4 から選択するものとするが、表に記載のない機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
3. J 6 条件で入力した機械以外にもアタッチメントを使用する場合は J 8 条件は①、J 9 条件欄に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
4. 運搬除雪時で補助作業員が必要な場合は、n 人/T を計算した値を入力する。
なお、T は組合わされる機械のうち、積込機械の運転日当り運転時間を用いる。
5. J 2 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 18、J 19 条件の入力は不要である。
6. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
7. J 18 条件で①を選択した場合、切刃損耗費 (Y-5103000) [円/時間] を単価登録すること。
8. J 19 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間] を単価登録すること。
9. 貸与機械で損耗品 (切刃、タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。
10. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。
11. J 21 条件で①を選択した場合は、作業付労務として 1 時間あたり普通作業員 1/T が計上される。
12. J 3 条件において、表 10. 3 以外を選択した場合は、J 22 条件を入力すること。

表 10. 3 除雪ドーザ機種一覧表

機 種	入力番号
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(第1次)	13(中速型) t 級 1.9m3 ①
〃	8 t 級 1.3～1.4m3 ②
〃	13 t 級 2.4～2.6m3 ③
〃	16 t 級 3.1～3.3m3 ④
ホイール型[ブレード専用型]	19 t 級 ⑤
ホイール型[ブレード専用型]排ガス型(第1次)	19 t 級 ⑥
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(第2次)	19 t 級 3.4～3.7m3 ⑦
〃	8 t 級 1.3～1.4m3 ⑧
〃	11 t 級 2.1m3 ⑨
〃	13 t 級 2.4～2.6m3 ⑩
〃	13(中速型) t 級 1.9m3 ⑪
ホイール型[ブレード専用型]排ガス型(第2次)	19 t 級 ⑫
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(第3次)	8 t 級 1.3～1.4m3 ⑬
〃	11 t 級 2.1m3 ⑭
〃	13 t 級 2.4～2.6m3 ⑮
〃	19 t 級 3.4～3.7m3 ⑯
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(2011年規制)	8 t 級 1.3～1.4m3 ⑰
〃	11 t 級 2.1m3 ⑱
〃	14 t 級 2.5～3.0m3 ⑲
〃	18 t 級 3.3～3.7m3 ⑳
ホイール型[ブレード・バケット兼用型]排ガス型(2014年規制)	11 t 級 2.1m3 ㉑
〃	14 t 級 2.5～3.0m3 ㉒
〃	18 t 級 3.4～3.7m3 ㉓

表 10. 4 除雪ドーザ(ホイール型)用アタッチメント
スノーバケット機種一覧表

機 種	入力番号
0.8～1.0m3	①
1.2～1.4m3	②
1.5～2.0m3	③
2.1～2.3m3	④
2.4～2.6m3	⑤
2.7～3.3m3	⑥
3.4～4.0m3	⑦

(3) 除雪トラック運転

施工歩掛コード	WB460020	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	待機の有無	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	除雪トラック機種	除雪トラック機械コード入力	ブラウ等機種計上の有無
	①有り ②無し	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.5)		①計上する ②計上しない
	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12
	ブラウ等機種	ブラウ等機種コード入力	その他 アタッチメント 等機種 計上の有無	その他 アタッチメント 等機種 コード入力	除雪トラック 供用日当り 運転時間	除雪トラック 供用日当り 運転時間 (実数)
	(表10.6)		①計上する ②計上しない		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]
	J 13	J 14	J 15	J 16	J 17	J 18
	除雪トラック 軽油数量 (L)	ブラウ等機種 供用日当り 運転時間	ブラウ等供用 日当り運転時間 (実数)	その他機種供用 日当り運転時間	その他供用日 当り運転時間 (実数)	切刃計上 の有無
	(実数入力)	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①計上する ②計上しない
	J 19	J 20				
	タイヤチェーン 計上の有無	保険料控除				
	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する				

- (注) 1. J 1 条件で①「有り」を選択した場合は、労務費は計上されない。
2. J 1 条件で①、J 4 条件で③を選択した場合、J 13 条件において軽油数量 (L) を入力する。
3. J 3 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 18、J 19 条件の入力は不要である。
4. 使用する除雪機械の機種は、表 10. 5 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、J 1 条件で①を選択した場合は、J 5 条件に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力し、J 1 条件で②を選択した場合は、J 5 条件に当該機械コード番号 (K○○○○○○○○) を入力する。
5. 除雪機械の他、ブラウ等を使用する場合は表 10. 6 から選択するものとするが、表に記載のない機械を使用する場合には、J 8 条件に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
6. J 7 条件で入力した機械以外にもアタッチメントを使用する場合は J 9 条件は①、J 10 条件に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
7. J18 条件で①を選択した場合、切刃損耗費 (Y-5103000) [円/時間]を単価登録すること。
8. J19 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
9. 貸与機械で損耗品 (切刃、タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。
10. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
11. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10. 5 除雪トラック機械一覧表

機 種	入力番号
ダンプ架装型 2 t 級 4×4	①
〃 4 t 級 4×4	②
〃 6 t 級 4×4	③
〃 7 t 級 4×4	④
〃 10 t 級 6×4	⑤
〃 10 t 級 6×6	⑥
除雪専用型 4 t 級 4×4	⑦
〃 6 t 級 4×4	⑧
〃 7 t 級 4×4	⑨
〃 10 t 級 4×4	⑩
〃 10 t 級 6×4	⑪
〃 10 t 級 6×6	⑫
その他除雪トラック	⑬

表 10. 6 除雪トラック用プラウ等機種一覧表

機 種	入力番号
アングリングプラウ 2.1m 4 t 級用	①
〃 2.4～2.5m 4 t 級用	②
〃 2.9～3.5m 7～10 t 級用	③
〃 伸縮式 (両端折たたみ) 4.2m 7～10 t 級用	④
〃 〃 〃 4.5m 7～10 t 級用	⑤
ワンウェイプラウ 進行角可変式 平押し可能型 2.85m 7～10 t 級用	⑥
〃 〃 回送幅縮小型 2.9～3.5m 7～10 t 級用	⑦
Vプラウ 2.2m 2 t 級用	⑧
〃 2.4m 4 t 級用	⑨
〃 2.8～2.9m 7～10 t 級用	⑩
ワンウェイプラウ 2.4～2.7m 4 t 級用	⑪
〃 2.8～3.5m 7～10 t 級用	⑫
〃 伸縮式 (両スライド式) 3.1～4.5m 7～10 t 級用	⑬
〃 〃 (右折・可変式) 4.2m 7～10 t 級用	⑭
〃 〃 〃 4.55m 7～10 t 級用	⑮
マルチプラウ 7～10 t 級用	⑯
サイドウィング ワンウェイ型 10 t 級用	⑰
〃 ツーウェイ型 10 t 級用	⑱

(4) ダンプトラック運転

施工歩掛コード		WB460040	施工単位	時間	
施工区分		入 力 条 件			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5
	損耗費持 込・ 貸与区分	ダンプトラック 機種	ダンプトラック 機械コード入力	ダンプトラック 供用日当り 運転時間	ダンプトラック 供用日当り 運転時間 (実数)
	①持込 ②貸与	(表10. 7)		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]

J 6	J 7
側板計上の 有無	タイヤチェーン 計上の有無
①計上する ②計上しない	①計上する ②計上しない

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10. 7 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、J 3 条件において当該機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇) を入力する。
2. 側板、タイヤチェーンの損耗費が必要ない場合は、J 6, J 7 条件で②を選択すること。
なお、J 1 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 6, J 7 条件の入力は不要である。
3. J 6 条件で①を選択した場合、側板損耗費 (Y-5200000) [円/時間]を単価登録すること。
4. J 7 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
5. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10. 7 ダンプトラック機械一覧表

機 種	入力番号
ダンプトラック オノロード・ディーゼル 2 t 積級	①
〃 〃 4 t 積級	②
〃 〃 6～7 t 積級	③
〃 〃 8 t 積級	④
〃 〃 10 t 積級	⑤
〃 〃 12 t 積級	⑥

(5) 多目的作業車運転

施工歩掛コード	WB460050	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	多目的作業車機種	多目的作業車機械コード入力	その他アタッチメント等機種計上の有無	その他アタッチメント等機種コード入力
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.8)		①計上する ②計上しない	
	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12
	多目的作業車供用日当り運転時間	多目的作業車供用日当り運転時間(実数)	その他アタッチメント供用日当り運転時間	その他アタッチメント供用日当り運転時間(実数)	タイヤチェーン計上の有無	保険料控除
	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する

(注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10. 8 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K○○○○○○○○) を入力する。

2. J 2 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 11 条件の入力は不要である。

3. J 11 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間] を単価登録すること。

4. 貸与機械で損耗品 (タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。

5. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。

6. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

7. その他アタッチメントを使用する場合は、当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。

表 10. 8 多目的作業車機械一覧表

機 種	入力番号
多目的作業車 オンロード・ホイール型 66kW級 4×4	①
多目的作業車 オンロード・ホイール型 110kW級 4×4	②
多目的作業車 オンロード・ホイール型 130kW級 4×4	③

(6) 一車線積込除雪車運転

施工歩掛コード	WB460060	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	一車線積込除雪車機種	その他の一車線積込除雪車機種入力	一車線積込除雪車供用日当り運転時間	一車線積込除雪車供用日当り運転時間 (実数)
	①持込	①持込	(表10.9)		①標準	(実数入力)
	②貸与	②貸与			②標準以外	標準[0]

J 7	J 8	J 9	J 10
補助作業員の計上の有無	補助作業員	タイヤチェーン損耗費計上の有無	保険料控除
①計上する ②計上しない	(実数入力) (n人/T)	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10. 9 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇) を入力する。
2. 運搬除雪時で補助作業員が必要な場合は、n 人/T を計算した値を入力する。
なお、T は組合わされる機械のうち、積込機械の運転日当り運転時間を用いる。
3. J 2 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 9 条件の入力は不要である。
4. J 9 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間] を単価登録すること。
5. 貸与機械で損耗品 (タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。
6. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
7. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10. 9 一車線積込除雪車機械一覧表

機 種	入力番号
ロータリ式 130kW(175PS) 級	①
〃 180kW(250PS) 級	②
〃 排ガス型(第1次) 130kW(175PS) 級	③
〃 〃 (〃) 180kW(250PS) 級	④
〃 〃 (第2次) 180kW(250PS) 級	⑤
〃 〃 (第3次) 220kW(300PS) 級	⑥
〃 〃 (2014年規制) 170kW(230PS) 級	⑦

(7) 除雪グレーダ運転

施工歩掛コード		WB460070	施工単位	時間			
施工区分		入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7
	待機の有無	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	除雪グレーダ機種	除雪グレーダ機械コード入力	除雪プラウ等機種計上の有無	プラウ等機種
	①有り ②無し	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.10)		①計上する ②計上しない	(表10.11)

J 8	J 9	J 10	J 11	J 12	J 13
プラウ等機種 コード入力	その他の 機械等機種 計上の有無	その他機種 コード入力	除雪グレーダ 供用日当り 運転時間	除雪グレーダ 供用日当り 運転時間 (実数)	除雪グレーダ 軽油数量 (L)
	①計上する ②計上しない		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	(実数入力)

J 14	J 15	J 16	J 17	J 18	J 19
プラウ等機種 供用日当り 運転時間	プラウ等供用 日当り運転時間 (実数)	その他機種供用 日当り運転時間	その他供用 日当り運転時間 (実数)	切刃計上 の有無	タイヤチェーン 損耗費計上の 有無
①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①計上する ②計上しない	①計上する ②計上しない

J 20	J 21	J 22	J 23
エンドビット 損耗費計上の 有無	保険料控除	除雪グレーダ 乗車定員	その他機種運転 日当り運転時間 (実数)
①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する	①2人乗り以上 ②1人乗り	(実数入力)

- (注) 1. J 1 条件で①を選択した場合は、労務費は計上されない。
2. J 1 条件で①、J 4 条件で⑩を選択した場合、J 13 条件において軽油数量 (L) を入力する。
3. J 1 条件で①を選択した場合、J 22、J 23 条件の入力は不要である。
4. J 3 条件で②を選択した場合は、J 18、J 19 及び J 20 条件の入力は不要である。
5. J 4 条件で⑬を選択した場合、J 22 条件は②で固定される。
6. J 4 条件で⑯、J 22 条件で①を選択した場合、J 23 条件を入力する。
7. 使用する除雪機械の機種は、表 10.10 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、J 1 条件で①を選択した場合は、J 5 条件に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力し、J 1 条件で②を選択した場合は、J 5 条件に当該機械コード番号 (K○○○○○○○○) を入力する。
8. 除雪機械の他、プラウ等を使用する場合は表 10.11 から選択するものとするが、表に記載のない機械を使用する場合には、J 8 条件に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
9. J 7 条件で入力した機械以外にもアタッチメントを使用する場合は、J 9 条件は①、J 10 条件欄に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
10. J 18 条件で①を選択した場合、切刃損耗費 (Y-5103000) [円/時間]を単価登録すること。
11. J 19 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
12. J 20 条件で①を選択した場合、エンドビット損耗費 (Y-5104000) [円/時間]を単価登録すること。
13. 貸与機械で損耗品 (切刃、タイヤチェーン及びエンドビット) を支給品とする場合は、別途計上すること。
14. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。

15. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。
16. J 22 条件で①を選択した場合は、作業付労務として 1 時間あたり普通作業員 1/T が計上される。

表 10. 10 除雪グレーダ機械一覧表

機 種	入力 番号	機 種	入力 番号
3.1m	①	排ガス型 (第3次) 3.1m	⑪
3.7m	②	〃 (〃) 3.7m	⑫
4.0m	③	〃 (〃) 4.0m	⑬
4.3m	④	〃 (〃) 4.3m	⑭
排ガス型 (第1次) 4.0m	⑤	排ガス型 (2014 年規制) ワンマンキャブ 3.7～4.3m	⑮
〃 (〃) 4.3m	⑥	その他除雪グレーダ	⑯
〃 (第2次) 3.1m	⑦		
〃 (〃) 3.7m	⑧		
〃 (〃) 4.0m	⑨		
〃 (〃) 4.3m	⑩		

表 10. 11 除雪グレーダ用ブラウ等機械一覧表

機 種	入力番号
Vブラウ 2.8～3.7m用	①
〃 4.0m用	②
サイドウイングワンウェイ型 3.7～4.0m用	③
〃 ツーウェイ型 3.7～4.0m用	④

(8) ロータリ除雪車運転

施工歩掛コード		WB460080	施工単位	時間		
施工区分		入 力 条 件				
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・ 貸与区分	損耗品持込・ 貸与区分	ロータリ 除雪車機種	ロータリ 除雪車機種 入力	ロータリ 除雪車供用 日当り運転時間	ロータリ 除雪車供用 日当り運転時間 (実数)
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.12)		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]

J 7	J 8	J 9	J 10
補助作業員の計上の有無	補助作業員人数	タイヤチェーン計上の有無	保険料控除
①計上する ②計上しない	(実数入力) (n人/T)	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10.12 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K○○○○○○○○) を入力する。
2. 運搬除雪時で補助作業員が必要な場合は、 n 人 / T を計算した値を入力する。
なお、 T は組合わされる機械のうち、積込機械の運転日当り運転時間を用いる。
3. J 2 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 9 条件の入力は不要である。
4. J 9 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間] を単価登録すること。
5. 貸与機械で損耗品 (タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。
6. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
7. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10. 12 ロータリ除雪車機械一覧表

機 種			入力番号
ホイール	2ステージ型	160kW (220PS) 級	①
〃	〃	180kW (250PS) 級	②
〃	〃	220kW (300PS) 級	③
〃	〃	240kW (330PS) 級	④
〃	〃	290kW (400PS) 級	⑤
〃	〃	360kW (500PS) 級	⑥
〃	〃	440kW (600PS) 級	⑦
〃	〃	排ガス型(1次) 180kW (250PS) 級	⑧
〃	〃	〃 (〃) 220kW (300PS) 級	⑨
〃	〃	〃 (〃) 240kW (330PS) 級	⑩
〃	〃	〃 (〃) 290kW (400PS) 級	⑪
〃	〃	〃 (〃) 360kW (500PS) 級	⑫
〃	〃	〃 (〃) 440kW (600PS) 級	⑬
〃	〃	〃 (2次) 180kW (250PS) 級	⑭
〃	〃	〃 (〃) 220kW (300PS) 級	⑮
〃	〃	〃 (〃) 290kW (400PS) 級	⑯
〃	〃	〃 (〃) 360kW (500PS) 級	⑰
〃	〃	〃 (〃) 440kW (600PS) 級	⑱
〃	〃	〃 (3次) 180kW (250PS) 級	⑲
〃	〃	〃 (〃) 220kW (300PS) 級	⑳
〃	〃	〃 (〃) 290kW (400PS) 級	㉑
〃	〃	〃 (〃) 440kW (600PS) 級	㉒
〃	〃	〃 (2011年規制) 180kW (250PS) 級	㉓
〃	〃	〃 (〃) 220kW (300PS) 級	㉔
〃	〃	〃 (〃) 290kW (400PS) 級	㉕
〃	〃	〃 (〃) 440kW (600PS) 級	㉖
〃	〃	〃 (2014年規制) 180kW (250PS) 級	㉗
〃	〃	〃 (〃) 220kW (300PS) 級	㉘
〃	〃	〃 (〃) 290kW (400PS) 級	㉙
〃	〃	〃 (〃) 440kW (600PS) 級	㉚

(9) 小型除雪車運転

施工歩掛コード		WB460090	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件						
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7
	機械持込・ 貸与区分	損耗品持込・ 貸与区分	小型除雪車 機種	小型除雪車 機種 コード入力	ブレード 装着の有無	小型除雪車 供用日当り 運転時間	小型除雪車 供用日当り 運転時間 (実数)
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.13)		①無 ②有	①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]

J 8	J 9	J 10	J 11
補助作業員の 計上の有無	補助作業員 人数	タイヤチェーン 計上の有無	保険料控除
①計上する ②計上しない	(実数入力) (n人/T)	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10.13 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇〇) を入力する。
2. ロータリに変えてブレードを装着する場合は、J 5 条件で②「有」を選択することにより、基礎価格が補正される。
3. 補助作業員が不必要な場合は、J 8 条件で②を選択すること。なお、実数入力は n 人/T を計算した値を入力する。
4. タイヤチェーンの損耗費が必要ない場合は、J 10 条件で②を選択すること。
なお、J 2 条件の貸与区分で②「貸与」を選択した場合は、J 10 条件の入力は不要である。
5. J 10 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間] を単価登録すること。
6. 貸与機械で損耗品 (タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。
7. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
8. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10. 13 小型除雪車機械一覧表

機 種			入力番号
ホイール	2ステージ型	30kW (40PS) 級	①
〃	〃	60kW (80PS) 級	②
〃	〃	75kW (100PS) 級※	③
〃	〃	90kW (130PS) 級	④
〃	〃 排ガス型(1次)	30kW (40PS) 級	⑤
〃	〃 〃	60kW (80PS) 級	⑥
〃	〃 〃	75kW (100PS) 級※	⑦
〃	〃 〃	90kW (130PS) 級	⑧
〃	〃 排ガス型(2次)	30kW (40PS) 級	⑨
〃	〃 〃	60kW (80PS) 級	⑩
〃	〃 〃	75kW (100PS) 級※	⑪
〃	〃 〃	90kW (130PS) 級	⑫
〃	〃 排ガス型(3次)	30kW (40PS) 級	⑬
〃	〃 〃	60kW (80PS) 級	⑭
〃	〃 〃	75Kw (100PS) 級※	⑮
〃	〃 〃	90kW (130PS) 級	⑯
〃	〃 排ガス型(2011年規制)	30Kw (40PS) 級	⑰
〃	〃 〃	60Kw (80PS) 級	⑱
〃	〃 〃	75kW (100PS) 級※	⑲
〃	〃 〃	90kW (130PS) 級	⑳
〃	〃 排ガス型(2014 年規制)	30Kw (40PS) 級	㉑
〃	〃 〃	60Kw (80PS) 級	㉒
〃	〃 〃	75kW (100PS) 級※	㉓
〃	〃 〃	90kW (130PS) 級	㉔

(注) ※印の機種(ホイール 75kW (100 P S) 級)は、ロータリに変えてブレードを装着可能な機種である。

(10) 小型ロータリ除雪機運転

施工歩掛コード		WB460100	施工単位	時間		
施工区分		入 力 条 件				
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・貸与区分	小型ロータリ除雪機機種	小型除雪機機械コード入力	小型ロータリ除雪機 供用日当り 運転時間	小型ロータリ除雪機 供用日当り 運転時間	保険料控除
	①持込 ②貸与	機械区分 (表10.14)		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①控除しない ②控除する

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10.14 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇〇) を入力する。
2. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
3. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10.14 小型ロータリ除雪機一覧表

機 種	入力番号
クローラ・ハントカイト型・ガソリンエンジン駆動	① 4kW(6PS) 級
〃	② 7kW(9PS) 級
〃	③ 8kW(11PS) 級
〃	④ 9kW(12PS) 級
〃	⑤ 12kW(16PS) 級
〃	⑥ 15kW(20PS) 級
〃	⑦ 22kW(30PS) 級
クローラ・ハントカイト型・ディーゼルエンジン駆動	⑧ 4kW(6PS) 級
〃	⑨ 7kW(9PS) 級
〃	⑩ 12kW(16PS) 級
〃	⑪ 18kW(25PS) 級
〃	⑫ 28kW(38PS) 級

(11) ロータリ除雪装置運転

施工歩掛コード		WB460120	施工単位	時間			
施工区分		入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7
	機械持込・貸与区分	損耗費持込・貸与区分	ロータリ除雪装置機種	ロータリ除雪装置機種 コード入力	ロータリ除雪装置のベースマシンの機種	除雪装置ベースマシン 機械コード入力	ベースマシン 運転日当り 運転時間 (T)(実数) (実数入力) 標準[0]
	①持込	①持込					
	②貸与	②貸与	(表10.15)		(表10.15)		

J 8	J 9	J 10	J 11	J 12
除雪装置 供用日当り 運転時間 (t)	除雪装置 供用日当り 運転時間 (t)(実数)	タイヤチェーン 計上の有無	保険料控除	除雪作業世話役 (土木一般世話役) の計上の有無
①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する	①計上する ②計上しない

- (注) 1. 使用する除雪装置の機種は、表 10.15 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇〇) を入力する。
2. タイヤチェーンの損耗費が必要ない場合は、J 10 条件で②を選択すること。
 なお、J 2 条件の貸与区分で②「貸与」を選択した場合は、J 10 条件の入力は不要である。
3. J 10 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
4. 貸与機械で損耗品 (タイヤチェーン) を支給品とする場合は、別途計上すること。
5. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
6. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。
7. J 12 条件は、J 6 条件で除雪作業世話役 (土木一般世話役) を含んだ機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇〇) を入力した場合は、除雪作業世話役が二重の計上とならないよう②を選択すること。
 なお、除雪作業世話役を含まない機械コード番号 (K〇〇〇〇〇〇〇〇) を入力した場合は、①を選択すること。

表 10.15 ロータリ除雪装置一覧表

ロータリ除雪装置	ベースマシン	入力番号
2ステージ型・エット型 60kW (80PS) 級	除雪ドーザ ホイール型 [ブレード・バケット兼用型] 1.2m ³ (ロータリ除雪装置 60kW (80PS) 級は 1.2m ³ で固定)	①
〃 排ガス型 (第1次) 60kW (80PS) 級		②
〃 〃 (第2次) 60kW (80PS) 級		③
〃 〃 90kW (120PS) 級	除雪ドーザホイール型 1.3～1.4m ³	④
〃 排ガス型 (第1次) 90kW (120PS) 級	[ブレード・バケット兼用型] 2.1m ³	⑤
〃 排ガス型 (第2次) 90kW (120PS) 級	排ガス型 (2011年規制) 2.5～3.0m ³	⑥
〃 排ガス型 (第3次) 110kW (150PS) 級	3.3～3.7m ³	⑦

(12) 路面整正装置運転

施工歩掛コード		WB460130	施工単位	時間				
施工区分	入 力 条 件							
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8
	待機の有無	機械持込・ 貸与区分	損耗品持込・ 貸与区分	除雪トラック (ベースマシン) 機種	ベースマシン コード入力	路面整正 装置の機種	路面整正 装置の コード 入力	ベースマシン 供用日当り 運転時間
	①有り	①持込	①持込					①標準
	②無し	②貸与	②貸与	(表10. 16)		(表10. 17)		②標準以外

J 9	J 10	J 11	J 12	J 13	J 14
ベースマシン 供用日当り 運転時間 (実数) (実数入力) 標準[0]	ベースマシン 軽油数量 (L) (実数入力)	路面整正装置 供用日当り 運転時間 ①標準 ②標準以外	路面整正装置 供用日当り 運転時間 (t)(実数) (実数入力) 標準[0]	切刃計上 の有無 ①計上する ②計上しない	タイヤチェーン 計上の有無 ①計上する ②計上しない

J 15
保険料控除 ①控除しない ②控除する

- (注) 1. J 1 条件で①「有り」を選択した場合は、労務費は計上されない。
2. J 1 条件で①, J 4 条件で⑧を選択した場合は、J 10 条件において軽油数量(L)を入力する。
3. 使用する除雪機械の機種は、表 10.16 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、J 1 条件で①を選択した場合は、J 5 条件に当該機械コード番号(M○○○○○○○○)を入力し、J 1 条件で②を選択した場合は、J 5 条件に当該機械コード番号(K○○○○○○○○)を入力する。
4. 路面整正装置は、表 10.17 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号(M○○○○○○○○)を入力する。
5. J 13 条件で①を選択した場合、切刃損耗費(Y-5103000) [円/時間]を単価登録すること。
6. J 14 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費(Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
7. 切刃又はタイヤチェーンの損耗費が必要ない場合は、J 13 条件及び J 14 条件で②を選択すること。
なお、J 3 条件の貸与区分で②を選択した場合は、J 13 条件及び J 14 条件の入力は不要である。
8. 貸与機械で消耗品(切刃、タイヤチェーン)を支給品とする場合は、別途計上すること。
9. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
10. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10.16 ベースマシン機械一覧表

機 種	入力番号
除雪トラック ダンプ架装型 7 t 級 4×4	①
〃 10 t 級 6×4	②
〃 10 t 級 6×6	③
〃 除雪専用 7 t 級 4×4	④
〃 10 t 級 4×4	⑤
〃 10 t 級 6×4	⑥
〃 10 t 級 6×6	⑦

表 10. 17 路面整正装置一覧表

機 種			入力番号
路面整正装置 (ﾌﾟﾚｰﾄﾞ押付力自動制御装置付)	2.8m	7～10 t 級用	①
路面整正装置	2.8～2.9m	7～10 t 級用	②
路面整正装置	3.3m	7～10 t 級用	③
路面整正装置 (伸縮式)両スライド式	2.3～3.4m	7～10 t 級用	④
〃	2.75～4.2m	7～10 t 級用	⑤
〃	2.85～4.0m	7～10 t 級用	⑥
〃	2.85～4.5m	7～10 t 級用	⑦
路面整正装置 (伸縮式)片スライド式	2.9～3.35m	7～10 t 級用	⑧
〃	2.85～3.35m	7～10 t 級用	⑨
路面整正装置 (伸縮式)両端折りたたみ	4.2m	7～10 t 級用	⑩
〃	4.5m	7～10 t 級用	⑪
路面整正装置 (アングリング式)	2.8～2.9m	7～10 t 級用	⑫
路面整正装置 (アングリング・伸縮式)両スライド式	2.85～4.5m	7～10 t 級用	⑬
路面整正装置 (アングリング・伸縮式)片スライド式	2.9～3.35m	7～10 t 級用	⑭
路面整正装置 (アングリング・伸縮式)両端折りたたみ	4.2m	7～10 t 級用	⑮
〃	4.53m	7～10 t 級用	⑯

(13) 凍結防止剤散布装置運転

施工歩掛コード	WB460140	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	凍結防止剤散 布装置 の機種	凍結防止剤 散布装置 機械コード 入力	トラック の規格	トラック 機械コード 入力	その他トラック 運転日当り 運転時間 (T)(実数) (実数入力) 標準[0]	凍結防止剤散布 装置供用日当り 運転時間 (t) ①標準 ②標準以外
	(表10. 18. 1)		(表10. 18. 2)			

J 7	J 8	J 9	J 10
凍結防止剤散布 装置供用日当り 運転時間 (t)(実数) (実数入力) 標準[0]	タイヤチェーン 計上の有無 ①計上する ②計上しない	保険料控除 ①控除しない ②控除する	その他トラック 燃料数量 (L) (実数入力)

- (注) 1. 使用する凍結防止剤散布装置の機種は、表 10. 18. 1 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、J 2 条件に当該機械コード番号 (K○○○○○○○○) を入力する。
2. 使用するトラック機種は、表 10. 18. 2 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する J 4 条件に当該機械コード番号 (M○○○○○○○○) を入力する。
3. J 3 条件で⑨を選択した場合、J 10 条件において燃料数量 (L) を入力する。
4. J 8 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費 (Y-5330000) [円/時間] を単価登録すること。
5. タイヤチェーンの損耗費が必要ない場合は、J 8 条件で②を選択すること。
6. 貸与機械とする場合は、別途に積算すること。
7. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
8. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10. 18. 1 凍結防止剤散布装置機種一覧表

機 種	入力 番号
車載・トラックPTO駆動 湿式2.5m ³	①
〃 湿式3.5m ³	②
〃 乾式2.5m ³	③
〃 乾式4.0m ³	④
車載・乾式・ガソリン・コンベア式 1.0～1.5m ³	⑤
〃 2.0～2.5m ³	⑥
車載・乾式・ディーゼル・コンベア式 2.0～3.0m ³	⑦

表 10. 18. 2 トラック規格一覧表

規 格	入力 番号
除雪トラック 除雪専用 4 t 級 4×4	①
〃 〃 6 t 級 4×4	②
〃 〃 7 t 級 4×4	③
〃 〃 10 t 級 4×4	④
〃 〃 10 t 級 6×4	⑤
〃 〃 10 t 級 6×6	⑥
トラック 普通型 2 t 積	⑦
〃 〃 4～4.5 t 積	⑧

(14) 凍結防止剤散布車運転

施工歩掛コード		WB460160	施工単位	時間			
施工区分	入 力 条 件						
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7
	待機の有無	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	凍結防止剤散布車機種	凍結防止剤散布車コード入力	凍結防止剤散布車供用日当り運転時間 (t)	凍結防止剤散布車供用日当り運転時間 (実数)
	①有り ②無し	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.19)		①標準 ②標準以外	(実数入力) 標準[0]

J 8	J 9	J 10	J 11	J 12	J 13
凍結防止剤散布車軽油数量 (実数入力)	凍結防止剤散布車用散布装置等機種 (表10.20)	凍結防止剤散布車用散布装置等コード入力	凍結防止剤散布車用散布装置等供用日当り運転時間(t) ①標準 ②標準以外	凍結防止剤散布車用散布装置等供用日当り運転時間(実数) (実数入力) 標準[0]	タイヤチェーン損耗費計上の有無 ①計上する ②計上しない

J 14
保険料控除 ①控除しない ②控除する

- (注) 1. J 1 条件で①「有り」を選択した場合は、労務費は計上されない。
2. J 1 条件で①, J 4 条件で③を選択した場合, J 8 条件において軽油数量(L)を入力する。
3. J 3 条件で②「貸与」を選択した場合は, J 13 条件の入力は不要である。
4. 使用する除雪機械の機種は, 表 10.19 から選択するものとするが, 表に記載のない除雪機械を使用する場合には, J 1 条件で①を選択した場合は, J 5 条件に当該機械コード番号(M○○○○○○○○)を入力し, J 1 条件で②を選択した場合は, J 5 条件に当該機械コード番号(K○○○○○○○○)を入力する。
5. J 4 条件で表 10.19 より凍結防止剤散布車用シャシ以外を選択した場合は, J 9 条件及び J 10 条件は入力出来ない。
6. 使用する散布装置等の機種は, 表 10.20 から選択するものとするが, 表に記載のない散布装置等を使用する場合には, 当該機械コード番号(M○○○○○○○○)を入力する。
7. J 13 条件で①を選択した場合, タイヤチェーン損耗費(Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
8. 貸与機械で損耗品(タイヤチェーン)を支給品とする場合は, 別途計上すること。
9. 保険料を控除する場合は, 別途に保険料を計上すること。
10. 作業時間帯により, 労務単価の補正を行うこと。

表 10. 19 凍結防止散布車機械一覧表

規 格					入力番号
乾式	積載量3 t 級	ホッパ ² 2. 5m ³	5. 5t車以上	(4×4)	①
〃	〃 4 t 級	〃 3. 5m ³	〃	〃	②
〃	〃 5 t 級	〃 4. 0m ³	7t車以上	〃	③
湿式	積載量3 t 級	〃 2. 5m ³	5. 5t車以上	〃	④
〃	〃 4 t 級	〃 3. 5m ³	〃	〃	⑤
〃	〃 5 t 級	〃 4. 0m ³	7t車以上	〃	⑥
〃	〃 7 t 級	〃 6. 0m ³	10t車以上	(6×4)	⑦
湿潤式	積載量3 t 級	〃 2. 5m ³	5. 5t車以上	(4×4)	⑧
〃	〃 4 t 級	〃 3. 4m ³	〃	〃	⑨
〃	〃 6 t 級	〃 5. 0m ³	7t車以上	〃	⑩
凍結防止剤散布車用シャシ 積載量10t級 (4×4)					⑪
凍結防止剤散布車用シャシ 積載量10t級 (6×6)					⑫
その他凍結防止剤散布車					⑬

表 10. 20 凍結防止剤散布車機械一覧表

規格			入力番号
乾式	積載量5t級	ホッパ ⁴ 4. 0m ³	①
湿式	積載量5t級	ホッパ ⁴ 4. 0m ³	②
湿式	積載量6t級	ホッパ ⁵ 5. 0m ³	③
湿潤式	積載量6t級	ホッパ ⁵ 5. 0m ³	④

(15) 散水車運転（凍結防止剤散布）

施工歩掛コード		WB460170	施工単位	時間		
施工区分		入 力 条 件				
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	散水車機種	散水車機種コード入力	散水車運転日当り運転時間(T) (実数入力) 標準[0]	散水車供用日当り運転時間(t) ①標準 ②標準以外
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.21)			

J 7	J 8	J 9
散水車供用日当り運転時間(t) (実数入力) 標準[0]	タイヤチェーン 損耗費計上の有無 ①計上する ②計上しない	保険料控除 ①控除しない ②控除する

- (注) 1. 使用する除雪機械の機種は、表 10.21 から選択するものとするが、表に記載のない除雪機械を使用する場合には、当該機械コード番号（K〇〇〇〇〇〇〇〇）を入力する。
2. J 2 条件で②「貸与」を選択した場合は、J 8 条件の入力は不要である。
3. J 8 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費（Y-5330000）[円／時間]を単価登録すること。
4. 貸与機械で損耗品（タイヤチェーン）を支給品とする場合は、別途計上すること。
5. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
6. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。

表 10.21 散水車機械一覧表

機 種	入力番号
トラック架装型 タンク容量 1,800ℓ	①
〃 〃 3,800ℓ	②
〃 〃 5,500～6,500ℓ	③
〃 〃 7,500～8,000ℓ	④
〃 〃 10,000 ℓ	⑤

(16) 雪道巡回工

施工歩掛コード		WB460210	施工単位	回			
施工区分		入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7
	機械持込・貸与区分	損耗品持込・貸与区分	雪道巡回機 種	その他雪道巡回機種コード入力	その他機種運転日当り運転時間	その他機種燃料種類	その他機種燃料消費量
	①持込 ②貸与	①持込 ②貸与	(表10.22)		(実数入力) 標準[0]	①ガソリン レギュラー ②軽油	(実数入力)

J 8	J 9	J 10	J 11	J 12	J 13
巡回1日当り巡回距離 (パトロール車)	巡回1日当り巡回距離 (散布車)	巡回1日当り巡回時間	パトロール車供用日当り 運転時間(t)	パトロール車供用日当り 運転時間(t)	凍結防止剤散布車供用日当り 運転時間(t)
(表10.23)	(表10.23)	(実数入力)	①標準 ②標準以外	(実数入力)	①標準 ②標準以外

J 14	J 15	J 16	J 17	J 18
凍結防止剤散布車供用日当り 運転時間(t)	その他機種供用日当り 運転時間(t)	その他機種供用日当り 運転時間(t)	タイヤチェーン計上の有無	保険料控除
(実数入力)	①標準 ②標準以外	(実数入力)	①計上する ②計上しない	①控除しない ②控除する

- (注) 1. 使用する雪道巡回機械の機種は、表 10.22 から選択するものとするが、表に記載のない雪道巡回機械を使用する場合には、当該機械コード番号(M○○○○○○○)を入力する。
2. タイヤチェーンの損耗費が必要ない場合は、J 17 条件で②を選択すること。
 なお、J 1, J 2 条件の貸与区分で②(機械貸与、損耗品貸与)を選択した場合は、J 17 条件の入力は不要である。
3. J 17 条件で①を選択した場合、タイヤチェーン損耗費(Y-5330000) [円/時間]を単価登録すること。
4. 貸与機械で損耗品(タイヤチェーン)を支給品とする場合は、別途計上すること。
5. 保険料を控除する場合は、別途に保険料を計上すること。
6. 作業時間帯により、労務単価の補正を行うこと。
7. J 3 条件が①～③の場合、J 18 条件は入力できない。

表 10. 22 雪道巡回機械一覧表

規 格						入力番号
パトロール車	ライトバン	[ガソリンエンジン・二輪駆動] 定員5名 1.5L				①
〃	〃	〃 〃 〃 2.0L				②
〃	〃	[ガソリンエンジン・四輪駆動] 〃 1.5L				③
凍結防止剤散布車	乾式	積載量3 t 級	ホッパ2.5m ³	5.5t車以上	(4×4)	④
〃	〃	〃 4 t 級	〃 3.5m ³	〃	〃	⑤
〃	〃	〃 5 t 級	〃 4.0m ³	7t車以上	〃	⑥
〃	湿式	積載量3 t 級	〃 2.5m ³	5.5t車以上	〃	⑦
〃	〃	〃 4 t 級	〃 3.5m ³	〃	〃	⑧
〃	〃	〃 5 t 級	〃 4.0m ³	7t車以上	〃	⑨
〃	〃	〃 7 t 級	〃 6.0m ³	10t車以上	(6×4)	⑩
〃	湿潤式	積載量3 t 級	〃 2.5m ³	5.5t車以上	(4×4)	⑪
〃	〃	〃 4 t 級	〃 3.4m ³	〃	〃	⑫
〃	〃	〃 6 t 級	〃 5.0m ³	7t車以上	〃	⑬

表 10. 23 巡回1回当り巡回距離番号

機 械 名	1 回 当 り 巡 回 距 離				
	10km以下	25km以下	45km以下	60km以下	75km以下
パ ト ロ ー ル 車	①	②	③	④	⑤
	95km以下	125km以下	160km以下	200km以下	
	⑥	⑦	⑧	⑨	
凍 結 防 止 剤 散 布 車	20km以下	30km以下	45km以下	55km以下	65km以下
	①	②	③	④	⑤
	80km以下	105km以下	125km以下	150km以下	
	⑥	⑦	⑧	⑨	

(17) 待機費

① 一式計上する場合

施工歩掛コード	WB460220	施工単位	式
---------	----------	------	---

(注) 待機費 (Y-5201000) [円／式] に係る費用の総価を単価登録すること。

② 個々に計上する場合

土木一般世話役

施工歩掛コード	WB460230	施工単位	時間
---------	----------	------	----

(注) 待機費 (Y-5201001) [円／時間] に係る施工単位当りの金額を単価登録すること。

オペレータ等

施工歩掛コード	WB460240	施工単位	時間
---------	----------	------	----

(注) 待機費 (Y-5201001) [円／時間] に係る施工単位当りの金額を単価登録すること。